

意見交換会

市政に生かします～

11月7日から16日にかけて、各地区において「市民と議会の意見交換会」を開催しました。各地区で出されたご意見・ご要望等については、議会内で議論するもの、執行部につないでいくものに整理し、今後、行政区長会、議会ホームページにてお知らせいたします。また、本庁、各支所でも確認できるよう公表いたします。

今回は、その一部を掲載します。

放置された空き家を

どうにかできないか

空き家が放置され、草が生い茂るなど、景観、防犯、衛生等の観点から今後、生活環境への影響を心配している。条例制定などにより、市としても厳しく指導してほしい。

議員より

市からも適正管理のお願いをしています。罰則はなく、強制できないのが現状です。12月議会の一一般質問において、執行部に質問を行いました。



公立八女総合病院の 建て替えについて

公立八女総合病院の建て替えについて、市民の大半は知らないようである。医師不足により対応できない診療科もある。

議員より

医師不足により久留米大学病院から医師の派遣を受けていますが、筑後市立病院にも同様に派遣されているため、余力がなく、今のままでは今後、中山間地を抱える八女市の地域医療を担えません。

八女市議会の全員協議会において、公立八女総合病院から説明があったばかりで、移転先地区をはじめ、具体的なことは決定事項ではありません。

市民と議会の ～みなさんの声を

教育現場を 見てほしい

ある中学校は、41人の2クラス編成であるため、教室が窮屈で、精神衛生面や感染症の心配もあるので、2クラスから3クラスにしてももらえないか。議員にも教育現場を見てもらいたい。

議員より

総務文教常任委員会で毎年、学校訪問調査を行っています。早急に現場を確認し、12月議会の一般質問において、執行部に質問を行いました。



親元就農にも支援を

新規就農には国や市からの支援があるが、親元就農やUターン就農の場合の支援は。

議員より

親元就農の場合、親から独立した経営を行う必要があり、手続きの複雑さが課題となっています。

国の制度は、現場の実態に合っておらず、改善を求めるよう声を上げていきます。

ご参加いただき ありがとうございました

八女会場	45人
上陽会場	26人
黒木会場	52人
立花会場	32人
矢部会場	21人
星野会場	25人
合計	201人

給食費の無償化を

給食費無償化を八女市が率先して行ってほしい。

議員より

総務文教常任委員会から市に要望書を提出したり、一般質問で取り上げています。

一定の補助は出されていますが、給食費を完全無償にするには、毎年2億数千円かかるため、慎重な考えです。